

ダム管理の効率化に向けたドローンの活用を検証

～道内初の試み！ 北海道開発局インフラDX～

北海道開発局では、地域を支える建設業の健全な発展を後押しするため、建設業等の働き方改革の実現と、建設現場の生産性向上に向けた取組を行っています。

この度、北海道開発局が推進するインフラDXの一環として、ドローンを活用したダム管理の効率化に向けた実証実験を行います。ダム監査廊※というGPS電波が届かない環境で、狭所空間を自動飛行できるドローンを使用した道内初の試みです。

ダム監査廊内の点検は、徒歩と目視による人力点検が必要なため、時間と労力を要しています。ドローンの活用が可能となれば、従来の人力点検に比べ、大幅な時間短縮と安全性の向上、作業員の負担軽減、省人化などダム管理の効率化につながります。また、地震発生後の点検を遠隔から行うことが可能となり、点検映像はAI技術で画像解析し迅速な状況把握が可能となります。

※ダム監査廊とは、ダム堤体内部に完成後の監査や各種の測定を行うために設けられた通路です。

実施要項

- 日時** : 2022（令和4）年11月17日（木） 13:30～（1時間程度）
- 開催場所** : 十勝ダム 監査廊（北海道上川郡新得町字屈足トムラウシ）
集合場所は別紙をご参照いただき、13:15までにお越しください。
- 対象** : 報道関係機関（一般の方は対象としておりません）
- 参加申込** : 取材を希望される方は、11月16日（水）17時までに「氏名、所属（会社名等）、電話番号」を記載の上、以下のメールアドレスまでお申し込みください。
Mail: hkd-ky-dezikedrone@gxb.mlit.go.jp
- その他** : 現地にヘルメットを用意してありますので、監査廊内での着用をお願いします。

【問合せ先】

- 試験内容** 国土交通省 北海道開発局 電話（代表）011-709-2311
事業振興部 デジタル基盤整備課 デジタル基盤整備企画官
今野 崇（内線 5331）
事業振興部 デジタル基盤整備課 上席専門官
新井 貴司（内線 5978）
- 開催場所** 帯広開発建設部 帯広河川事務所 電話（代表）0156-65-3121
十勝ダム管理支所 支所長 赤坂 友二（内線 8-771-21）



十勝ダム監査廊 ドローン実証実験 集合場所案内図

